

耐熱ターポリン 耐熱データ

ターポキャンバス® 2000-TNとは…

高温下(80℃～120℃)でも可塑剤が抜けにくく
質量や風合いの変化が少ないターポリンです！

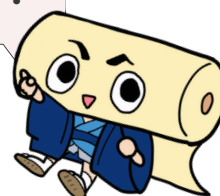
*空気の温度『雰囲気温度』であり、目安の温度です。

高温でも可塑剤が抜けにくいと…？



- ①収縮しにくい！
- ②ベタツキを軽減！
- ③風合いの変化を軽減！

3つのメリット！



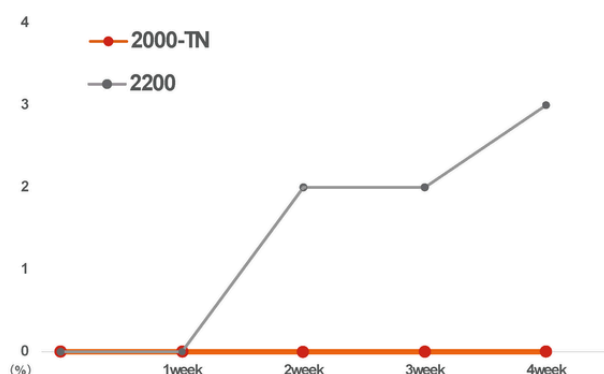
①収縮しにくい！

120℃乾熱試験後の収縮率を比較したグラフです。

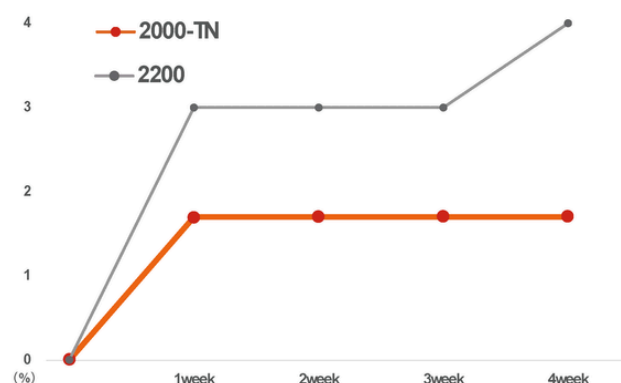
一般ターポリンと比較し、ほとんど変化が見られません。

(ターポキャンバス®#2200)

■120℃耐熱試験 収縮率の変化
タテ方向



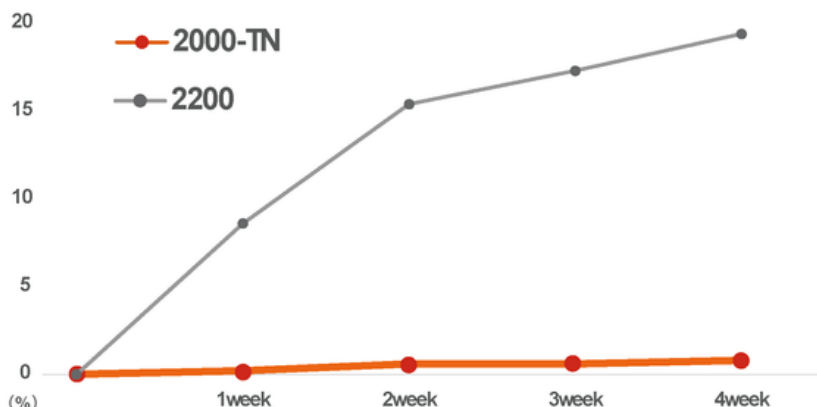
ヨコ方向



②ベタツキを軽減！

120℃乾熱試験後の質量減量率を比較したグラフです。
数値が高くなるほど質量が減ります。
可塑剤が抜けにくいのでベタツキを抑えられます。

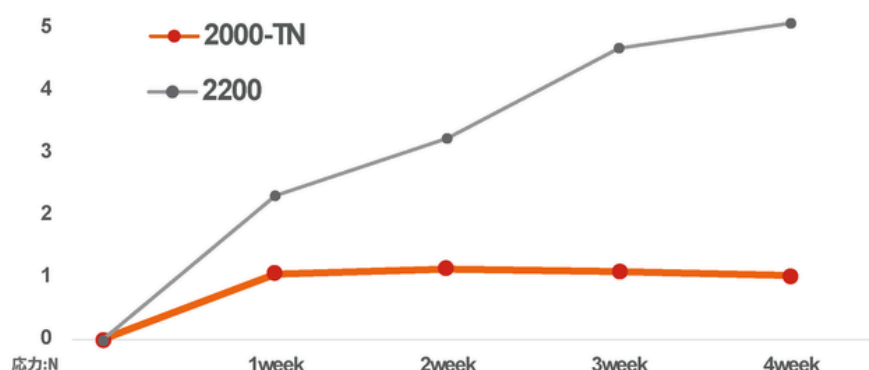
■120℃耐熱試験 質量減量率



③風合いの変化を軽減！

120℃乾熱後にループ試験(※¹)を実施し応力を比較したグラフです。
数値が高くなるほど硬いことを示しています。
一般ターポリンと比較し、ほとんど変化が見られません。
(ターポキャンバス®#2200)

■120℃耐熱試験後 ループ試験



※¹ ループ試験の様子



イメージです



平岡織染株式会社 HIRAOKA & CO., LTD.

東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7
大阪 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-2-14

TEL.03-3876-2111
TEL.06-6209-7000

FAX.03-3875-5627
FAX.06-6209-7011

